

「学校施設の教材化と小学校における環境教育の可能性」

本研究懇談会では、学校教育や施設計画・建築環境・建築設計に携わる方々から、国内外の学校を舞台とした住まいやまち学習の事例をご紹介いただきながら、学校施設が教材として果たせる役割や課題について、会場からのご意見も交えながら学校施設の可能性について議論を深めます。



■日時：2011年8月23日（火）13：45～16：45

■会場：早稲田大学早稲田キャンパス15号館301室

（東京都新宿区西早稲田1-6-1、地下鉄東西線「早稲田駅」から徒歩5分、北門そば）

■参加方法：一般市民の方は無料/事前申し込み不要

■プログラム

司会：谷口新（大妻女子大学）

副司会：望月悦子（千葉工業大学） 記録：田中稲子（横浜国立大学）

13：45-13：50 主旨説明 村上美奈子（計画工房）

13：50-15：00 第1部 主題解説

(1) 学校教育における住環境教育 妹尾理子（香川大学）

(2) 杉並区エコスクールにおける人工環境の学び 高口洋人（早稲田大学）

(3) 施設の使いこなしに向けた情報共有の試み 廣谷純子（こどものためのオープンハウス）

(4) フィンランドの学校で行われている環境教育 垣野義典（豊橋技術科学大学）

(5) 教材としての学校建築のあり方 小泉雅生（首都大学東京）

15：15-16：40 第2部 討論

コーディネーター：古賀誉章（東京大学）

16：40-16：45 まとめ 高橋達（東海大学）

